

進学経験共有

趙星宇

こんにちは、みなさん！私は2022年4月に亜細亜友之会外語学院に入学したクラスAの趙星宇です。私は今年、立教大学と明治大学に合格しました（最終的には立教大学異文化コミュニケーション学部に進学しました）。日本留学試験の成績が優秀であったため、2022年11月に文部科学省外国人留学生奨学生として選ばれました。これから私の進学経験を共有させてください。お役に立てば幸いです。

EJUの総合科目の勉強について

2021年6月から中国で総合科目の学習を始めましたが、最初は総合科目の勉強をどこから始めればいいかさえわからなかったので、まずは教材に全体的に大まかに目を通すことが非常に重要でした。当時、私は総合科目の教科書をネットで購入し、独学ができるだけ短い時間で全ての知識を網羅することを心がけていました。1週間で総合科目の出題範囲を大体掌握しました。もちろん、本当に試験で良い点を取るためにには、じっくりと深く勉強する必要があります。来日後の試験までの数週間は、総合科目の過去問を繰り返し、間違った問題をメモし、ポイントをメモして再復習しました。正直に言うと、このプロセスは本当に役に立ちました。

EJUの数学の勉強について

正直に言うと、私の数学の成績はあまり良くなく、平均点を少し超えたレベルしかありません。数学を学ぶ上でいくつかアドバイスがあります。まずは、最も基本的な二次関数をしっかり練習して、間違えないようにしましょう。2つ目は、試験中にわからない問題は空欄にしないことです。

日本語の勉強について

日本に留学する上で一番大切なのはもちろん日本語ですが、まずは私の日本語の課外学習についてお話ししたいと思います。

1. 毎朝ニュースを見ること。パソコンがない場合は、スマートフォンでYouTubeをオンにして耳を鍛えながら、リアルタイムのニュースを蓄積することもでき、今後の面接に役立ちます。

2. 評論の番組をよくみること、私がよく見ているのは「ABEMA 変わる報道番組」でした。ここは「よく聞く必要がある」ということを強調しなければなりません、日本人の純粋な日本的な表現や考え方について注意する必要がある。言語学習の最も重要な方法の一つは、ネイティブスピーカーの話し方や正しい表現方法を真似することだと思います。

3. 文章を書くのに役立つ日本語の本をもっと読んで、その文法や文型を正しく使い、自分のものにしましょう。

亜細亜友之会外語学院での1年間の勉強で多くのことを学びました、ここに入る前に、厳しい学校だと聞いて少し不安を持っていました。ここで1週間勉強した後、ここは私が真剣に試験の準備をするのに適した場所であると徐々に気づきました。入学後Aクラスに配属され、その後福原先生にも出会い大変お世話になりました。福原先生は主に語彙の部分を話してくれて、退屈な文法や単語を、ユーモアを交えて覚えて理解させてくれました。その後の授業では、個人のプレゼンテーションやグループディベートが随時行われました、

これは国内の高校では経験したことのない形式で、最初は上手くできるか不安でしたが、基本的に毎回夜更かしして資料や ppt を作成し、チームメンバーと積極的にディスカッションすることで、自信や思考力、表現力に少なからずプラスの影響を与えていました。私の知る限り、周りの他の語学学校の友達はこのようなクラスでのプレゼンテーションやディベートをほとんど行っていないので、亜細亜友之会外語学院は（上位クラスに対して）よくやっていると思います。3点1線での通学学習で月日はあっという間に過ぎ、いつの間にか日本語力もグンと伸びました。2022年6月に行われる外国人留学試験においては日本語が334点の成績を取りました。とても高い点数ではないものの、昨年の277点と比べると大幅に向上したと言えます。

2022年の第2回日本留学試験では、日本語339点、総合科目158点、数学119点を獲得し、文部科学省からの奨学金を獲得することができました。自分の努力の結果でもあります、語学学校での毎日の高強度な練習のおかげでもあります。

日本留学試験から約2ヶ月が経ち、集中して出願する期間がやってきましたが、大学出願に関しては福原先生に最初の大学・専攻選びから進路の整理まで大変お世話になりました。出願資料を提出し、最終面接へと繋ぎました。諦めない限り、福原さんは必ずチャンスを与えてくれます。大学選びは情報戦です。各大学の具体的なスコアや最新の出願情報などといった情報が非常に重要になります。福原先生がその学校の入試情報をまとめて下さいました。各大学の合格実績も私たちにとって貴重な情報です。次に志望理由ですが、初めて志望動機を書く時に何から始めれば良いのか分からぬという方も多いと思いますが、この時、先生のしっかりと指導がとても大切です。福原先生は理系大学の出身でしたが、理系と文系の異なることについてはたくさん知っています。志望理由書の指導過程では、学生が自分なりの志望動機を書けるように全力で指導していただきました。出願書類については、日本はとても厳しい国ですので、大学受験の際も同様に、大学に提出する書類に間違いがないように注意しなければなりません。福原先生は毎回出願する時、私と一緒に出願書類を丁寧にチェックしていました。私の知る限り、他の語学学校ではここまで先生が責任を持って出願書類をチェックしてくれる学校はありません、基本的には学生自分でやっています。最後に学内試験ですが、私が志望した明治大学政治経済学部では事前課題と面接があり、一次試験合格を知った時はうれしさと同時に不安もありました。なにしろ、人生で初めての面接、そして私の人生を左右する面接でしたから。私は2週間後の最終面接に向けて200%の準備していました。福原先生の面接指導では、福原先生から聞かれそうな質問の用紙を渡され、それを自分で記入し、それを福原先生に渡して添削してもらい、1週間かけて先生と縫い合わせて7000語以上の原稿を書きました。もちろん、この原稿を暗記するのは簡単ではありません。毎日午後、福原先生と面接の練習をやっていました。先生の厳しい要求と時間の制約の中、一週間かけて面接の原稿を暗記し、自分の頭の中に入れました。土曜日の面接本番では、落ち着いて面接を全て終え、教授に褒めていただきました。1週間後に合格発表があり、念願叶って第一志望の明治大学政治経済学部に合格しました。先生方、特に福原先生の懸命な努力と根気強い指導がこの瞬間に実を結びました。

進学について

「日本での入試結果は、あなたの努力に比例する」と私は言い切れます。未知のことに対する挑戦しながら、自分を知り、自分の進みたい道を見つけてください。